

需要予測のフロー、前提条件について

1. 今年度の需要予測のフロー

地下案、高架案の絞り込みや運行サービスの絞り込み、運賃水準のあり方の検討を行うために、需要予測及び収支採算性の検討を行う。

そのために、各検討結果より、需要予測実施案の選定を行い、以下の考え方により需要予測及び収支採算性の検討を実施する。

【需要予測案】

整備計画案

地下案-2 (箕面船場駅：側道直下～側道直下)
 高架案-2 (箕面船場駅：側道直下～河川上空占用)
 高架案-3 (箕面船場駅：側道直下～道路上空占用)

需要予測上は、高架案-2 と高架案-3 は差がないため、同一条件とする。

運行計画

案 1-2 (ピーク時半数、オフピーク時全数乗り入れ案：引上線整備)
 案 2 (ピーク時・オフピーク時全数乗り入れ案：引上線整備なし)

運賃水準

新線加算 60 円案
 乗継割引案
 必要に応じて新線加算 60 円+ 案の追加

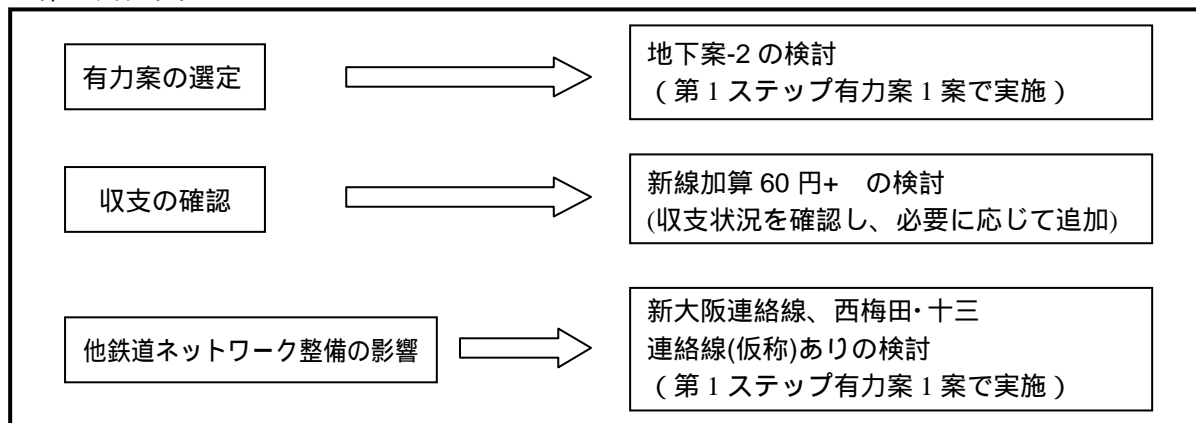
【需要予測フロー（案）】

第 1 ステップ

整備計画	運行計画	運賃水準	
高架案-2	案 1-2 (ピーク時半数、オフピーク時全数乗り入れ案：引上線整備)	新線加算 60 円案 乗継割引案	
	案 2 (ピーク時・オフピーク時全数乗り入れ案：引上線整備なし)	新線加算 60 円案 乗継割引案	



第 2 ステップ



2. 需要予測の前提条件

項目	平成 17 年度、18 年度調査	今年度調査
1. 予測モデル	・近畿地方交通審議会答申第 8 号のモデルを前提とする。	・同左
2. 予測対象ゾーン	・既存駅との取り合いも考慮し、箕面市内のゾーンは細分化を行う。	・同左
3. 予測対象年次	・2020 年（平成 32 年）	・同左
4. 人口フレーム	・平成 12 年国勢調査ベース。 ・近畿地方交通審議会答申第 8 号 (H16.10) で設定した将来人口	・最新の平成 17 年国勢調査ベースに置き換える。 ・最新の将来予測人口に置き換える。 ・開発人口についても、人口定着を考慮し見直しを行う。
5. 将来鉄道ネットワーク	・事業中もしくは事業化が決定している路線を加えた。	・開業した路線、事業認可等の実態に合わせる。 ・事業中もしくは事業化が決定している路線を加えるケース及びさらに計画中路線である西梅田・十三連絡線(仮称)、新大阪連絡線を加えるケースの 2 ケースを想定する（延伸による御堂筋線の最混雑区間の混雑緩和を考慮）。
6. 端末バス路線網の設定	・延伸後の駅端末のバス路線網については、現在の路線網と新駅の位置を考慮し、新駅へのアクセスにより時間短縮が図れる路線については、箕面船場駅もしくは新箕面駅へのアクセスへ再編されるものと仮定した。	・別途調査が行われている、バス路線網の再編に関する考え方に従って、現状のバス路線網の再編をイメージし、その結果を端末バスサービスとして需要予測に反映させる。
7. 端末バスサービスの予測への反映	・所要時間及び料金を鉄道端末手段のインプットデータとして与えている。	・今年度は端末バスサービスをより明確に予測モデルに反映させるために、過去に大阪モノレールが調査を実施し作成を行った、駅端末バスの手段選択モデルのパラメータを元に、所要時間、料金だけでなく、運行頻度も考慮して端末手段のデータを与える。 ・また、モデルが目的別に作成されていることから、端末データも目的別に作成する。
8. VISOLA の需要	・自由目的集中トリップを考慮。分布パターンは H12PT パターンを用いている。(H12PT 調査では、VISOLA のトリップが反映されていないため。)	・自由目的集中トリップ及び通勤集中トリップ(従業者)を考慮する。 ・分布パターンは、H12PT パターンではなく、VISOLA の商圈を考慮し、より現実に近い分布パターンを設定する。(同左)

予測対象ゾーン（箕面市内のゾーンの細分化）

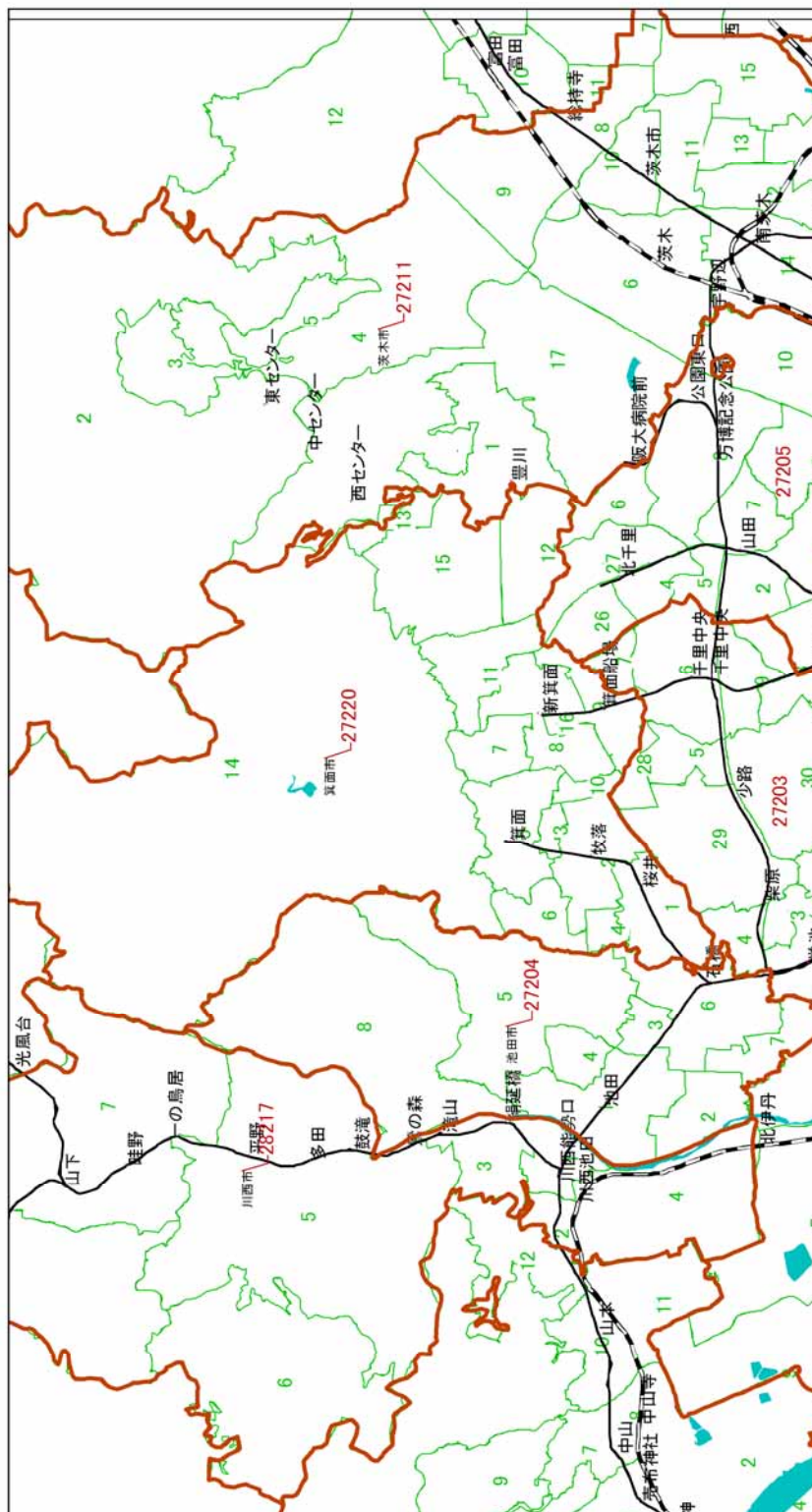
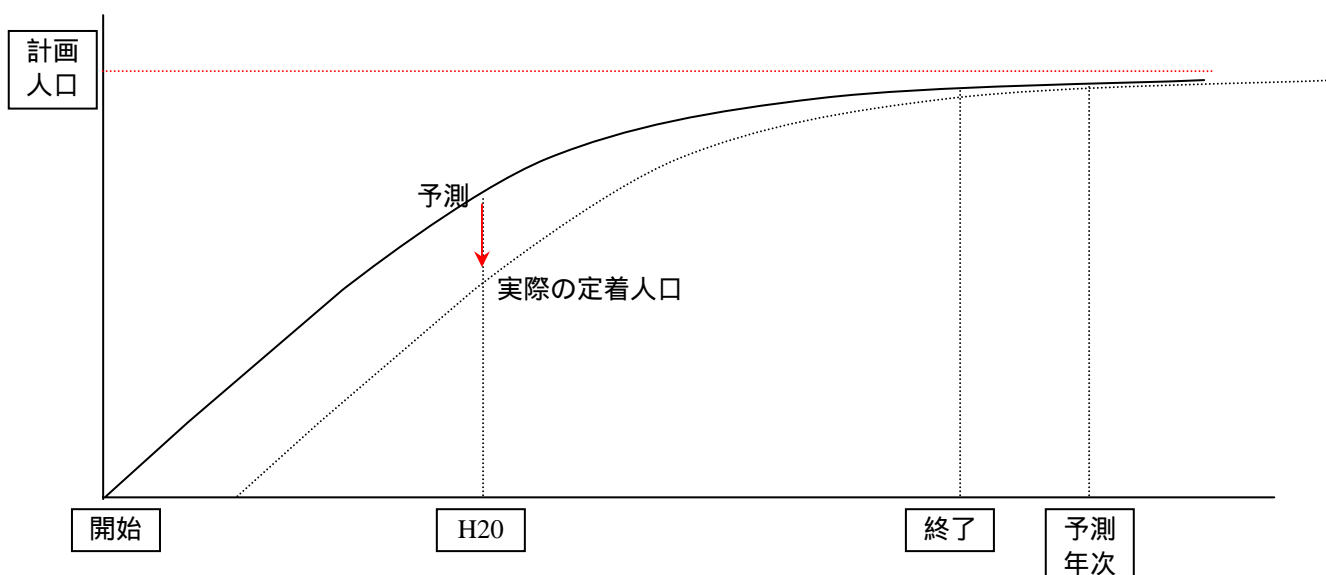


図 箕面市内のゾーンの細分化

開発人口の見直し

			箕面森町	彩都	小野原西	萱野中央
現行	事業期間	開始	1996年	1994年	2000年	1995年
		完了	2015年	2007年	2010年	2007年
	計画人口	常住	9,600人	50,000人 箕面市：11,000人 茨木市：39,000人	3,410人	2,300人
		従業		24,000人		
	2020年		9,550人	常住：47,967人 従業：23,024人	3,406人	2,300人
見直し	事業期間	開始	1996年	1994年	2000年	1995年
		完了	2015年度	2012年度	2011年度	2007年度
	計画人口	9,600人	50,000人 箕面市：11,000人 茨木市：39,000人	3,400人	常住：800人 従業：2,600人	
	定着人口	323人(H20.9)	6,181人(H20.9) 箕面市：295人(H20.9) 茨木市：5,886人(H20.9)	127人(H20.9)	常住：600人 従業：1,800人	
	定着率	3.4%	12.4%	3.7%	70.6%	



鉄道ネットワーク

過年度検討において考慮した鉄道ネットワーク（今年度の基本ケースも同じ）

地域	路線名	整備区間
大阪周辺	西大阪延伸線	西九条～難波
	中之島新線	天満橋～玉江橋
	大阪外環状線	新大阪～久宝寺
	大阪市交8号線	井高野～今里～湯里六丁目
	北港テクノポート線	コスモスクエア～夢洲～舞洲～新桜島
	国文都市モノレール	阪大病院前～東センター
京都周辺	京都市交東西線	二条～天神川

今回、追加ケースとして考慮する鉄道ネットワーク

地域	路線名	整備区間
大阪周辺	西梅田・十三連絡線(仮称)	西梅田～十三
	新大阪連絡線	十三～新大阪